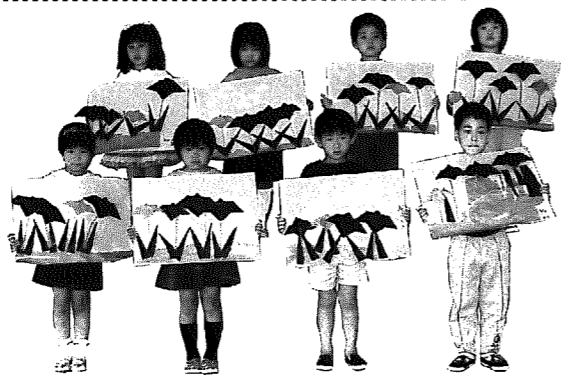




■このコーナーでは、皆さんからの情報を募集しています。地区内行事、ボランティア活動などなんでもOK。総務課企画係（☎82-4111内線215）までご連絡ください。
■この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係へご連絡ください。写真をさしあげます。

■和納保育園・五歳児



■写真上段左から：のじまあやかさん、たけうちあかりさん、やまぎしゆうまくん、ひらはらさゆりさん
■写真下段左から：まえやまちぐささん、やまだえりかさん、いとうひろきくん、こもぶちそうくん

わたしの自信作



▶当時の思い出を語るこの会の発起人（代表）池田正勝さん

戦争が進むにつれて、児童・生徒の心身鍛錬が重視された昭和十年代。この頃、各地で陸上競技大会が開かれましたが、その大会で大活躍をしたのが和納小学校でした。
昭和十二年頃から各地の大会に参加し、巻中学校競技会高等科の部や巻高等学校女子校競技会尋常科の部、島上少年少女オリンピック大会などで優勝。特に、巻中学校競技会・尋常科の部では、昭和十三年から三年連続して優勝し、優勝旗を永久獲得しました。

陸上王国「和納」の『黄色い鉢巻』を偲んで

黄色い鉢巻をしめた「陸上王国和納」の象徴ともいうべき、その優勝旗が見つかったのが今年の二月下旬。その後、池田正勝さん（和納二区）を中心として、当時を「偲ぶ会」を開こうということになりました。
先月十五日、会場となった和納区長事務所には、懐かしい顔触れが三十人以上も集まり、まるで当時に戻ったかのようになり、楽しんで語り合っていました。そして最後には、和納小学校の旧校歌（千代の緑の弥彦山）を全員で合唱しました。

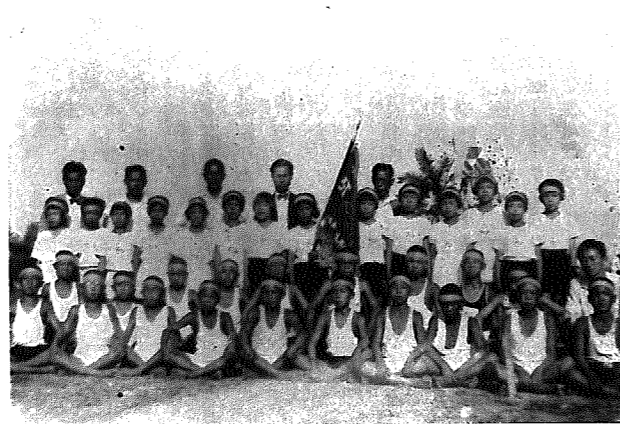
和納小学校旧校歌

訓導 金子哲郎作詞

- 一、千代の緑の弥彦山
気高き影を映しつづ
 - 二、春は菜種の風薫り
秋は稲穂の波よぐ
 - 三、いであかき心
大みことりの畏こみて
- 学びの道につとめつづ
国と家とに報いばや



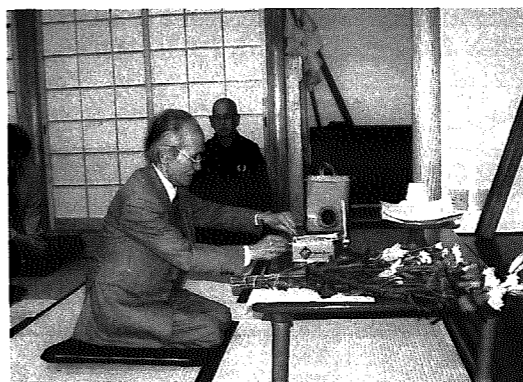
▲久しぶりの再会に話しもはずみ！



▲昭和15年6月：中越オリンピック大会優勝（島上小にて）

父 翠雲画伯の思い出の地で…

日本画壇の巨匠・小室翠雲画伯は、昭和10年に岩室温泉を訪れ、その際に翠雲画伯は、良寛和尚が「岩室の田中の松は…」と詠んだ『田中の松』の下に佇み、「師来って 何の意がある 飛錫 高蹤留む 傍人の…」と詩を作られました。その翌年、「良寛歌碑・田中の松」が建立され、田中の松が枯れてしまった現在も、その歌碑は残っています。その翠雲画伯の長男で、絵・書・詩人としても有名な倉田角次さんが、先月9日当地を訪れて、父の写真に献花をしました。倉田さんは、「個展を開くなどして、岩室温泉にご協力したい」と語っていました。



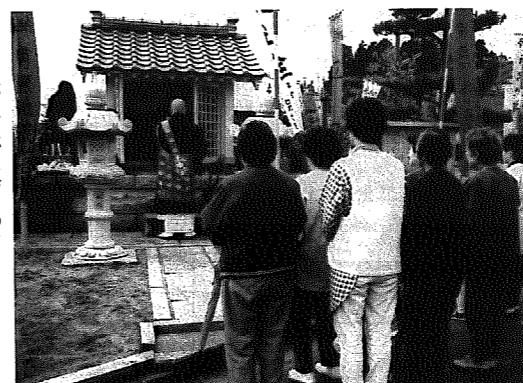
▶父の写真に献花する倉田さん



▶たいへん上手にできました！

談志師匠来タリ！

——先月19日に、田植祭——
東京落語界の第一人者、立川談志師匠が当村に稲刈りに訪れたのが昨年九月。その談志師匠が先月十九日、今度は田植えにやって来ました。
この田植祭、岩室落語会の主催（協賛：岩室温泉旅館組合青年部、元気工房わのう）により行われたもので、当日会場となった夏井八サ木展望施設脇の談志の田んぼには、百人を超える人が集まりました。
田植えを終え、気持ち良さそうに田んぼから出た師匠、「稲刈りにも来るから」と、今から収穫の秋を楽しみにしていました。



▶地元住民が集まって…

全力つくしてゴールヘダッシュ

——先月19日に、村内小学校で運動会——

好天に恵まれた先月19日、村内の両小学校で「大運動会」が行われ、会場では熱戦が繰り広げられました。
グラウンドが整備されてから初めてとなる岩室小学校の運動会。最初の応援合戦から始まり、100メートル競争や紅白対抗リレー、来賓と祖父母が参加するレース、PTAが参加しての綱引きなど盛り沢山のプログラムに、参加者は皆大ハッスル。最後は全員で「岩室音頭」を踊りました。
会場からは、終日「赤勝て、白勝て」との大きな声援がこだましていました。



▶アンパンマンだ〜！

新谷地区に 地藏尊菩薩堂が完成

新谷地区では、地区民の浄財により、地区内のお地藏さんを一同に合祀した地藏尊菩薩堂が建立されました。それにあわせて、新たに「仲良し地藏」と「ぼけ封じ地藏」が寄進されました。
先月十一日には、その開眼式が同地で盛大に行われました。
今回の建立は、「大園場整備事業が無事に完成したのは、地区を見守ってくれる神仏のおかげ」と感謝の気持ちをこめて行われたものです。また翌十二日には、地区の春祭りにあわせて、なおらいが地区民総出で行われました。